

5月19日(月)

田植え

二上営農組合の岩田さんや沙魚川さん、地域のみなさまのご協力をいただきながら、田植えを行いました。高岡で発明されたという「ころがし」を使った印に、丁寧に苗を植えました。

たくさんの地域の方々がお手伝いに来てくださいました。はじめに、田植えの仕方を営農組合の沙魚川さんに教えてもらいました。



実際に「ころがし」で印をつける様子を見学しました。ゆっくり、ゆっくり線を合わせながら進む様子に感心しました。



3年生は始めは、田の中に入ることも躊躇していました。やがて、そろり、そろり... そのうち、「苗がなくなりました！ください！」と元気な声が響きました。



2回目の田植えをする5年生は、要領を思い出し、まっすぐ丁寧に手早く植えていました。



11月のもちつき大会には、今回植えた米が使われます。お世話になった方々に感謝しながらいただきたいものです。

3年生は、苗が稲に育つまでを観察していきます。また、5年生は9月に刈り取ったわらを使い、「ものづくり・デザイン科」の学習で、縄ないをする予定です。

田んぼの水は、足がつめたくなるほどつめたかったけど、入っているうちにだんだん足があつたくなり、田うえもどんどん進んでいきました。田んぼには線がついていたので線をふまないように歩きました。線のたてと横がぶついている所に苗を3本ずつとってそっとさすように土の中にうえました。(3年 児童)

今日の田植えは、たくさんの方々の協力でできたと思います感謝の気持ちでいっぱいです。9月には稲刈りを行い、11月のもちつき大会で使われるので、この田植えの大切さがとても分かりました。たくさん苦労して植えた苗がみんなに食べてもらう美味しいもち米になってほしいです。(5年 児童)